『城下町・柏原』

天下統一を目前にして、明智光秀に打たれた織田信長の後の織田家ことはあまり歴史に出てきませんが、次男信雄（のぶかつ）が徐々に没落し、それでもその直系の子孫が 2 万石という少ない禄であっても小大名として、現在の兵庫県に住み明治を迎えたというのは歴史の妙です。その行政の建物（陣屋）が一部現存しています。また、江戸時代まで神仏混淆であった寺社が、明治政府によって神仏が分離されたわけですが、柏原八幡神社では本殿の背後に三重塔が建っているという江戸時代さながらの寺社風景が見られるというのです。まさに歴史散歩にふさわしいでしょう。

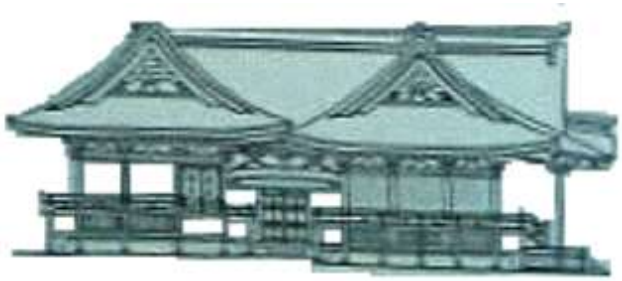
「宇陀崩れ」という殿様の不行状があったにも拘わらず、織田家が「お家取りつぶし」にならなかった不思議。江戸幕府は豊臣家を滅ぼしたが、それより前の織田家という家系は存続させるのだという努力を見せる演出をしたのでしょう。栄枯盛衰という歴史の自然な流れの中で、「人」ではなく、「家」という入れ物を存続させるという封建的な考え、江戸幕府の工夫を感じ取ることができるでしょう。これに関しては、織田家の分家で旗本（将軍の家臣で 1 万石未満）となったものでも格の高い「高家」として遇されていることからもそれが読み取れるのです。名家に関しては「絶やさない」と「太らせない」。この 2 点こそが幕府の腐心した体制維持法といえるのではないでしょうか。

一方、織田家にしてみれば、家禄は収入。家格は、参勤交代の供の数、軍備や家来の数、城や江戸屋敷の修理・維持、付け届けなどお付き合い等、支出に関係してきます。よって、織田家は家格が低くなったことで財政的には随分と助かったと思われます。実際、宇陀では城であったのに、2 万石となった柏原では「城」ではなく「陣屋」であったので、まさにその通りだったでしょう。とはいえ、やはり織田の作る城下町なので、町が小さくとも陣屋、家老、上級武士、下級武士、町人、百姓、寺社など江戸時代の城下町の体裁が今でも見られ、それが柏原の魅力らしいのです。道に関しては、下級武士の町は見通しが悪く、町人町は碁盤の目のように整然としているとのこと、それを行って確かめましょう。家老の屋敷は広く、よって、今は公共施設が建っているとのことです。

『柏原八幡宮』と『いそ部神社』

江戸時代まで両社ともに「八幡さん」と呼ばれていました。明治以降現在の呼び名に。祭りの日が柏原より早いことから、歴史もいそ部の方が古いと主張していますが、簡単な調査で、前者は 1024 年に後一条天皇の命により石清水八幡宮の別宮として創建、後者は社殿を改修した 1752 年に石清水八幡宮から勧請、よって、その差は歴然です。しかし、両社ともに起源は古く、前者は 600 年前半頃に「牛頭天王」を祀った、後者は背後「剣爾山」の磐座の時代の社、という言い伝えがあのです。

それよりも、両者の社殿が八幡造りではなく、前者は「権現造り（ただしかなり変則）」、南に面して建つ。後者は「三間社流造り」、桧皮葺で北に面して建つ（背後は剣爾山）。切石積みの基壇上に低い亀腹があり、その上に礎石柱を建てている。正面は蔀戸で、内部は中央で外陣と内陣に分かれる。外側は高欄付きの縁があり、正面は階段下に浜床がある‥‥‥とのこと。よくはわからないが、とにかく現地でじっくりと見ることで目を肥やしてきましょう。前者の三重塔、後者の社殿彫刻ともに、柏原藩の代々お抱えの宮大工「中井権治、言次」が手掛けたものだとのことです。



（本殿）　（拝殿）
典型的な権現造り

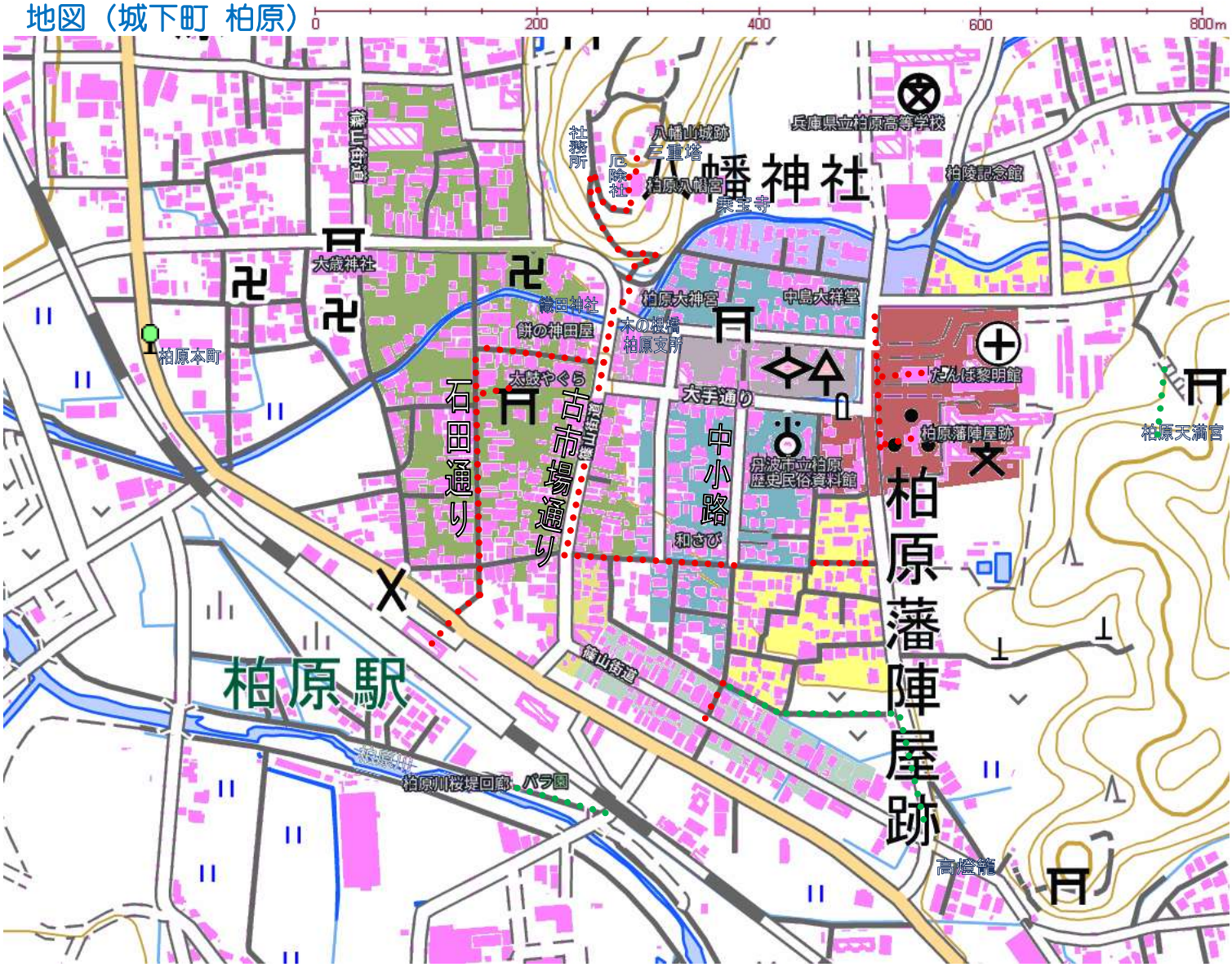


（本殿）（拝殿）
八幡造り



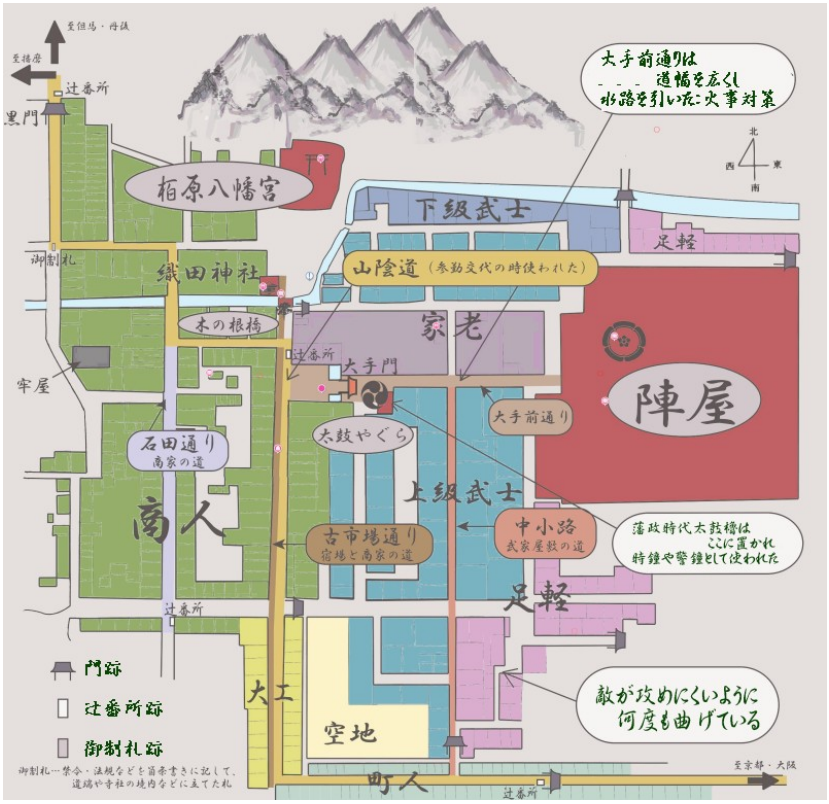
（本殿）
流れ造り

地図（城下町 柏原）



『宇陀崩れ』：江戸時代中期の元禄７年(1694))に大和国の宇陀松山藩で起こったお家騒動です。

織田信雄の五男高長は、父の改易時代、加賀前田家に身を寄せていましたが、江戸幕府より信雄が大名に取り立てられるのですが、名代を立て云々で、高長は所領のうち大和国宇陀３万1200石を受け継ぎます。　高長の跡を継いだ子の宇陀松山藩３代藩主の織田長頼は、弟の長政に福知村ほか８か村3000石を分与し、宇陀松山藩は２万8200石となります。しかし、家の格が高く(従四位下侍従)、やがて藩の財政は窮乏し、打開策をめぐって祖父の織田信雄から仕えてきた創業功臣の子孫である古参衆の重臣と、高長が寄寓していた加賀時代からの家臣である加賀衆が対立するのです。古法を順守しようとする古参衆に対し、開墾や植林をはじめ積極的な政策を展開しようとする加賀衆でしたが、藩主信武に近い加賀衆が政策に名を借りて私利私欲に走っていると捉えた古参衆と激しく対立していきます。やがて信武は乱心で家臣を切り、奥座敷において自害して果てたのです。



関西学院大学総合政策学部の学生が作成した図より